

## 平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査結果について

1 実施日 平成31年4月18日（火）

2 調査対象 第6学年児童 55名

3 調査内容

(1) 教科に関する調査（国語、算数科）

- ① 身につけておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ② 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容  
上記①と②を一体的に問う。

(2) 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

4 調査結果

(1) 各教科の平均正答率・全国との比較

国語・算数ともに、全国平均を上回りました。

(2) 児童質問紙調査（抜粋）

### 成果が見られた項目

- 先生は、あなたのよいところを認めてくれますか。
- 先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか。
- いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。
- 家の人（兄弟姉妹を除く）と学校の出来事について話しますか。
- 国語の勉強は大切だと思いますか。
- 国語の授業で学習したことは、将来社会に出た時に役立つと思いますか。

### 課題が見られた項目

- 自分には、よいところがあると思いますか。
- 読書は好きですか。
- 地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがありますか。
- 今住んでいる地域の行事に参加していますか。
- 算数の勉強は大切だと思いますか。

## 5 学力向上の取り組み（授業改善のポイント）

### （1）国語科

- ① 自分の考えを深めるため、他者の考えや意見について考えたり、自分の考えを見つめ直したりする時間と場を設定する。
- ② 話合いの前後に、自分の考えを書く機会を必ず設定する。その際、文章を読む人を意識させ、相手に伝わる表現になっているかという視点をもって書くようにさせる。

### （2）算数科

- ① 解決の見通しをもち学習に取り組むことができるように学習課題を精選して提示すると共に、問題の解き方や考え方が分かるようなノートの作り方の指導を重視する。
- ② 言葉や数、式、図、表、グラフなどを用いて数学的に表現されているものの意味や考え方を理解し、それらを用いて問題を解決したり振り返ったりする学習過程を重視する。

### （3）2つの教科を通して

- ① 国語、算数が大切であることを理解している児童は多いが、好きという回答は若干少ないと思われる。「できた、わかった」という児童の達成感、成就感を持たせるために、個に応じた指導や習熟度別学習に重点をおき指導を行う。

## 6 保護者・地域の皆様へ

子どもの学習環境や生活環境づくりについて、特に以下の点にご留意いただきご協力をお願いいたします。

### （1）家庭学習について

- 家庭で子どもが落ち着いて学習できる場と時間を確保する。
- 保護者が子どもの学ぶ姿を見て、認め、褒める。

### （2）読書について

- 家庭で本が読める環境づくりをする。
- 学校図書館や市立図書館を活用し、多くの本に接する。

### （3）家族・地域社会との関わりについて

- テレビやゲーム、スマホなどの時間を少なくし、家族とのふれあいや会話を大切にする。
- 地域や郷土のよさ、人々のつながりの大切さを学ぶため、郷土行事等に積極的に参加させる。

